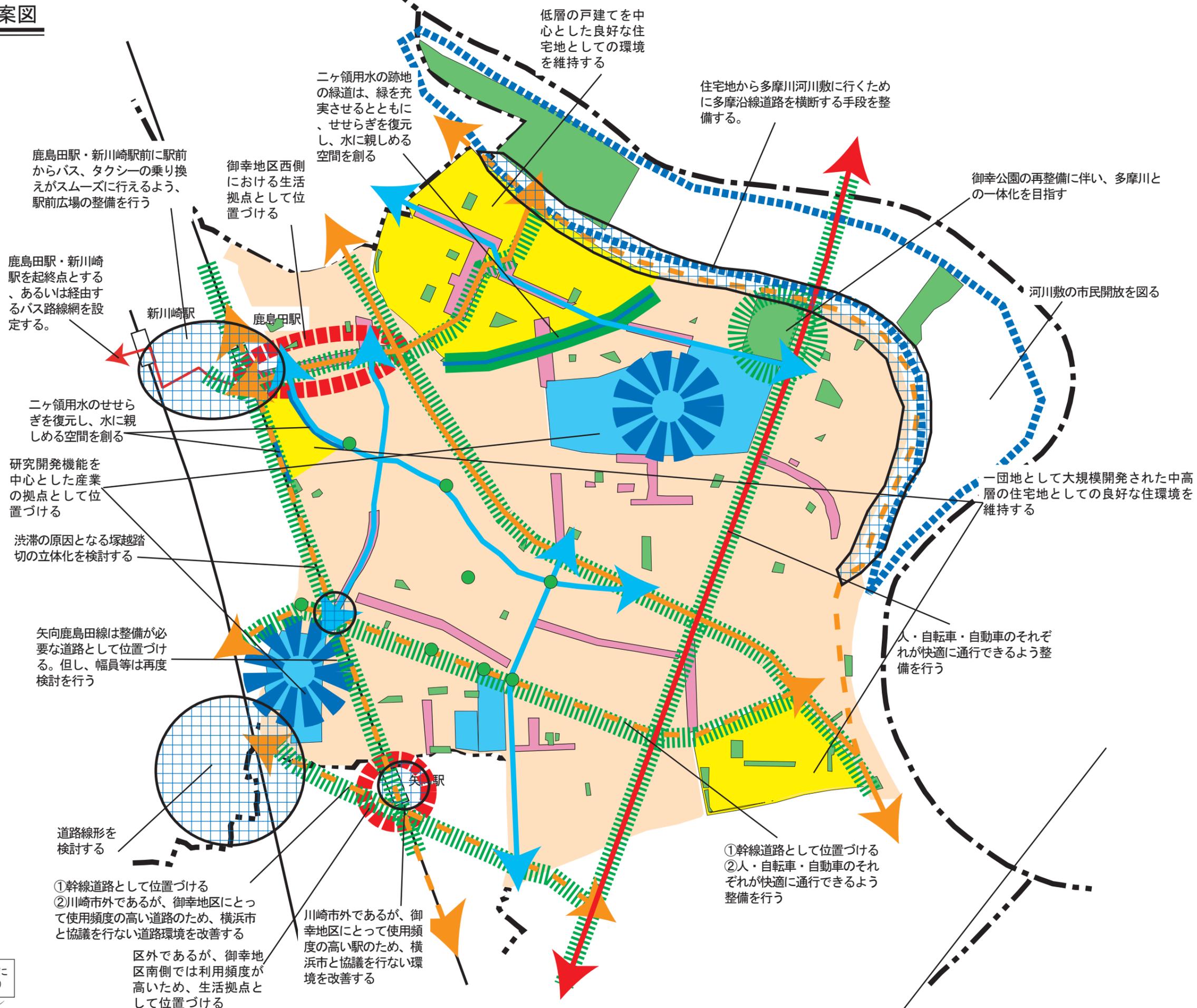


御幸地区 まちづくり提案図

凡 例

———	都との界
-----	市との界
-----	区界
-----	町丁界
———	鉄道路線
□	鉄道駅
———	主要幹線道路 (整備済)
———	幹線道路 (整備済)
———	幹線道路 (未整備)
———	地区幹線道路
■	緑地・公園
■	工業系土地利用地域
■	近隣商業地域
■	住宅系土地利用地域
■	良好な住宅地の保全地域
●	産業拠点
●	生活拠点
●	緑の拠点 緑のネットワーク
●	水辺の拠点 水辺の空間



鹿島田駅・新川崎駅前
からバス、タクシーの乗り換
えがスムーズに行えるよう、
駅前広場の整備を行う

御幸地区西側
における生活
拠点として位
置づける

ニヶ領用水の跡地
の緑道は、緑を充
実させるとともに
、せせらぎを復元
し、水に親しめる
空間を創る

低層の戸建てを中
心とした良好な住
宅地としての環境
を維持する

住宅地から多摩川河川敷に行くため
に多摩沿線道路を横断する手段を整
備する。

御幸公園の再整備に伴い、多摩川と
の一体化を目指す

河川敷の市民開放を図る

鹿島田駅・新川崎
駅を起終点とする
、あるいは経由す
るバス路線網を設
定する。

ニヶ領用水のせせら
ぎを復元し、水に親
しめる空間を創る

研究開発機能
を中心とした産業
の拠点として位
置づける

渋滞の原因となる塚越踏
切の立体化を検討する

矢向鹿島田線は整備が必要
な道路として位置づける。但し、幅員等は再度
検討を行う

道路線形を
検討する

①幹線道路として位置づける
②川崎市外であるが、御幸地区にと
って使用頻度の高い道路のため、横浜市
と協議を行ない道路環境を改善する

区外であるが、御幸地
区南側では利用頻度
が高いため、生活拠点
として位置づける

川崎市外であるが、御
幸地区にとって使用
頻度の高い駅のため、横
浜市と協議を行ない環
境を改善する

人・自転車・自動車のそれぞ
れが快適に通行できるよ
う整備を行う

①幹線道路として位置づける
②人・自転車・自動車のそれ
ぞれが快適に通行できるよ
う整備を行う

● 歩行者が安全に道路を横断出来るように
整備を行う箇所 (地元ヒアリングより)

※塚越 1～4丁目・古市場・古市場 1～2丁目・東古市場・サウザンドの各町内会、戸手小PTA、古川小PTA、みのり幼稚園父母会、古市場小保護者(アンケート)に対して行った地元ヒアリングの中で、複数の町内会より出された箇所を抽出した。